

きらめきプラザ(岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館)

KIRAMEKI PLAZA

No.13-009-2010更新

改修・保存
その他

発注者	岡山県	カテゴリー				
設計・監理	株式会社竹中工務店 TAKENAKA CORPORATION	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	株式会社竹中工務店	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

国立病院病棟から県民福祉の拠点へのコンバージョン

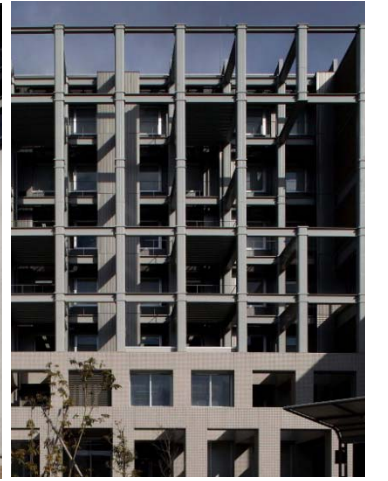
生活を取りまく環境の変化から福祉サービスへのニーズが多様化する一方、福祉に関連する行政予算の確保は困難な状況にある。ボランティアやNPOなど民間の活動と行政サービスとの連携を図り、県民総参加による確かな福祉社会の実現を推進するために、築後40数年を経た旧国立岡山病院の建物を、県の福祉に関する総合拠点施設としてコンバージョン整備した。整備にあたっては、福祉活動の拠点として、1. バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進、2. 環境負荷低減への配慮、3. 高度情報化への対応、4. 構造体の耐震安全性の1.25倍割増しが求められた。

耐震補強やコンバージョンでの様々な機能的な課題を解決し、同時に環境負荷の低減や街並みの景観を一新する付加価値を生み出す手法として、ダブルフレーム構法を開発し、解体・新築に対して約60%のVFM効果(岡山県試算)をあげたほか、フレームによる熱負荷の削減や自然エネルギーの活用により、CASBEE Sランク(BEE=4.1)を実現した。

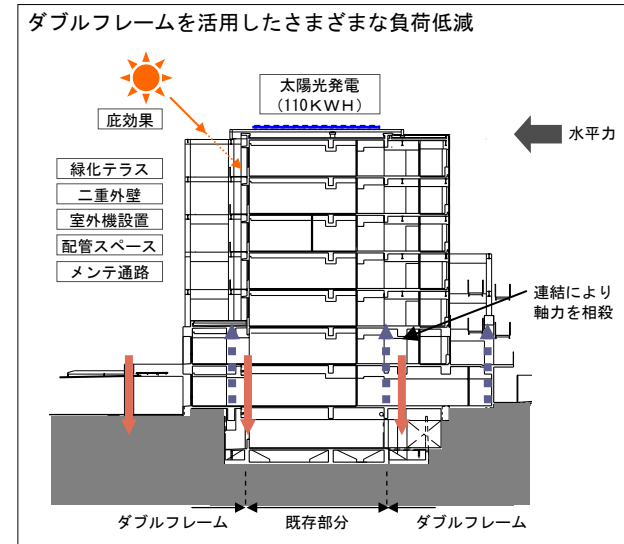
年間20万人近くの利用者を数え、福祉の拠点として広く親しまれている。



写真：改修前後の外観
格子状に構成したダブルフレーム。
さまざまな機能がデザイン要素として陰影や変化を与え、既存病棟建物のイメージを一新した。

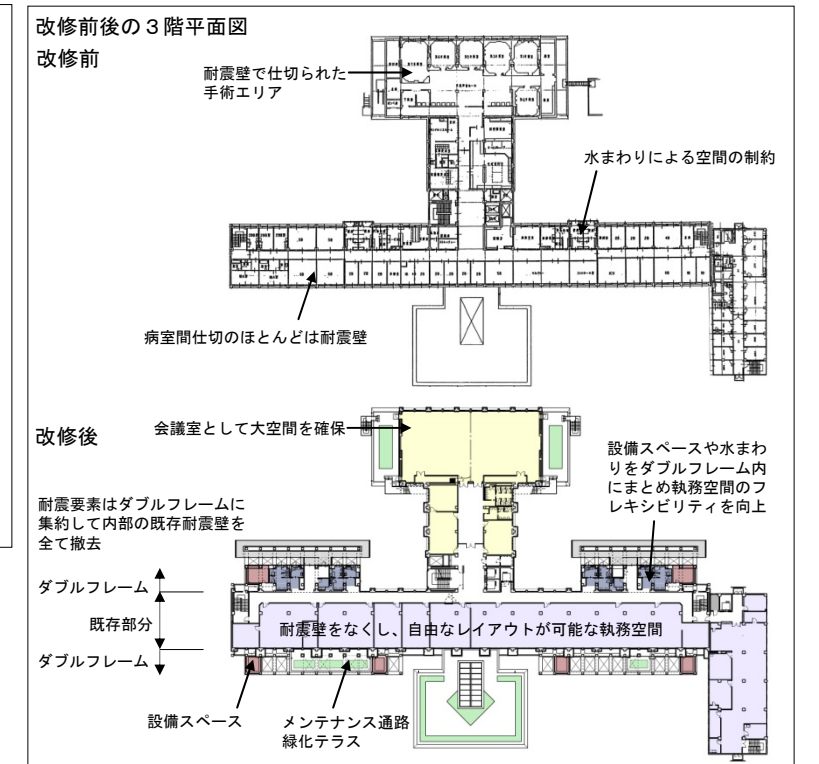


写真：改修前後の内部
内部耐震壁を全て撤去し、十分な自然採光により快適で、様々な用途構成に応えるフレキシビリティの高い空間とした。



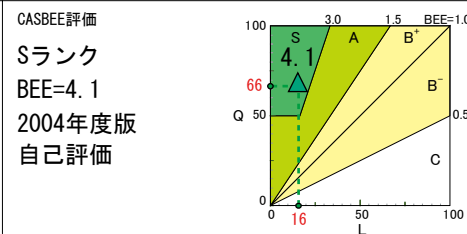
ダブルフレームによる主要な効果

- ・解体新築に対し、約60%のイニシャルコスト減
- ・年間19%のエネルギー使用量削減(2006年実績)
- 太陽光発電11.7万KWH(全使用電力の8%)
- 雨水使用量3,430m³(全使用水量の4.2%)



建物データ

所在地	岡山県岡山市
竣工年	2005年
敷地面積	14,730m ²
延床面積	20,796m ²
構造	RC造一部SRC、S造
階数	地下1階、地上7階



- 主要な採用技術(CASBEE準拠)
- Q2. 2. 対応性・更新性(メカニカルバルコニー、設備の更新性)
 - Q3. 1. 生物環境の保全と創出(外構緑化、建物緑化)
 - Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮(空間提供、建物利用者の設計への参加)
 - LR1. 2. 自然エネルギー利用(自然換気、自然採光、太陽光発電)
 - LR2. 1. 水資源保護(雨水利用)
 - LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減(既存躯体の継続使用)